

# 伊勢茶は三重県産100%の緑茶です。

## お茶 まめ知識

日本各地には茶産地が広く分布しています。でもよく見てみると、北の方には産地がありません。これは、寒い地ではお茶の生育条件が満たされていないからなんだ。一般的にお茶は、

年間平均気温15℃  
年間降水量1500ミリ以上  
が必要とされているんだよ。



■ 主なお茶の生産地



三重県はココだよ!

布引山脈

鈴鹿山脈

長島温泉

水沢  
(四日市市)

鈴鹿  
(鈴鹿市)

亀山  
(亀山市)

鈴鹿サーキット

エコロしいさん

夫婦岩

三重県は  
お茶づくりに  
ぴったりの  
環境なんじゃ。

飯高・飯南  
(松阪市)

大台・多気  
(多気郡)

度会  
(度会郡)

伊勢神宮

太平洋

熊野古道  
(世界遺産)

伊勢茶イメージキャラクター  
茶柱タツ



# 三重県は 全国3位の 緑茶産地です。

三重県のお茶生産は、栽培面積・生産量・生産額それぞれ、静岡県、鹿児島県に次いで全国第3位です。煎茶・かぶせ茶・深蒸し煎茶が多く生産され、品評会では何度も農林水産大臣賞を受賞するほどの高品質を誇っています。



水沢

西に鈴鹿山脈、東に伊勢湾を望む北勢地域。上質で香味のあるかぶせ茶は、水沢(四日市)独特の製法から生まれます。



鈴鹿

鈴鹿連峰の裾野に広がる広大で平坦な茶園。昼と夜の気温差が大きく、主にかぶせ茶・煎茶が栽培されています。



亀山

江戸時代、城下町・宿場町として栄えた東海道・亀山は、温暖な丘陵地帯。おもに煎茶を出荷しています。



飯高・飯南・大台・多気・度会

伊勢神宮に通じる櫛田川・宮川の流域は、朝霧に育まれた香り豊かな深蒸し煎茶の産地です。